

プレスリリース

企業の家庭訪問 親の不安を解消し、子離れもサポート

～北は札幌、南は徳之島まで 2018年度就職内定者29名に実施～

リフォーム事業をおこなう株式会社NEXTAGE GROUP ネクステージ グループの子会社、MED Communications株式会社 メッド コミュニケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木洋寧）は、2018年度入社予定の内定者29名を対象に2017年11月から2018年1月まで家庭訪問を実施しています。

この取り組みは2年前より高校生を対象に実施し、「子が親に仕事内容や企業情報を説明出来ていない」、「この会社の子を任せて大丈夫か」と心配する親が多くいることから、高校生のみではなく、大学生へ向けても家庭訪問を行うことにしました。

今回、人事担当者5名が、北は札幌、南は徳之島まで全国から集まった29名の内定者の自宅を訪問し、会社の取り組み、仕事内容、研修中の様子、一人暮らしの様子、指導する先輩社員の説明を行っています。

■親の安心と、社員の責任感を実感

家庭訪問を受けた親からは「会社の人を知れて信頼できる」「安心できる」など好評です。また、どのような幼少期を送り今まで育ててきたのかを涙を流しながら語り、「子を任せます」と託されることもあり、人事担当者は引き受ける責任を実感する機会にもなっています。家庭訪問は、受け入れる社員の生活のサポートが具体的にイメージでき、入社後に人材に問題がある時は、人事担当者から親に相談しやすく、早期離職の防止につながりやすくなります。

今後は、人事担当者だけでなく、新入社員を指導する先輩社員も家庭訪問を行って、親の思いと新入社員を引き受ける責任を感じてもらい、組織力向上につなげていきます。



両親に当社の説明をする人事担当者

また、4月に行う入社式は、内定者には知らせずに両親を招待するサプライズを計画しています。家庭訪問では、入社式で使用する子への手紙、幼少期の写真から成長を感じる動画作成の打ち合わせも行い、会社と家族との関係性を深めていきます。

■社員の成長のために子離れを訴える

社会人一年目の新入社員は、入社後慣れない環境に身を置くことで、様々な不安やストレスを感じることがあります。その時、頼るのが親であり、優しい言葉をかけられてそのまま退職する場合があります。

当社では社会人としての自立が重要だと考えています。そのため、家庭訪問では親の「子離れ」を必ず伝えています。社会人としての成長に伴う子の悩みに親が簡単に手を差し出すのではなく、その成長を見守り続け「子離れ」をすることで、必ず新入社員を成長させることができると伝えています。

【家庭訪問担当者の感想】

氏名	社歴	感想
柴田直	2年目	入社2年目で家庭訪問を行うことに不安もありましたが、実際に行ってみると話を真剣に聞いてくれて、親からの子への思いも聞くことが出来て、先輩としてしっかり支えていかなければいけないと思いました。
伊藤和弥	3年目	内定者の親と話して、会社で受け入れるために、人材を守っていかなければいけないと強く感じました。 この子たちの親代わりとしてサポートしていきたいと思えました。
畑關志郎	18年目	様々な意見や不安があり、不安を取り除くのに家庭訪問の重要性を知りました。「子供を好きにして下さい」と話す親は、不安と期待がこもっています。そういった思いをくみ取り、成長させることができるように全力でサポートしたいと思いました。
壇隆平	18年目	2016年に採用した高校生は、青森から東京へ出て一人暮らしをするので、「一人で生活が出来るのか」「人間関係は大丈夫か」と不安を抱く親が多く、青森から、家族全員で子供の様子を見に来ることも多々ありました。家族の心配する様子から働く社員だけではなく、親にも安心して子供を任せてもらえる企業である必要性を感じました。

【家庭訪問の詳細】

期 間：2017年11月～2018年1月

対象者：2018年度入社予定の内定者29名

訪問先：神奈川県横浜市／川崎市／平塚市

千葉県千葉市　／鴨川市／船橋市／松戸市

静岡県藤枝市　／静岡市

福島県西白河郡／岩手県花巻市　／茨城県日立市　／山梨県南巨摩郡　／栃木県小山市

埼玉県富士見市／朝霞市／川口市

大阪府貝塚市　／寝屋川市／泉大津市／高槻市／大阪市

兵庫県神戸市　／三次市／福山市

鹿児島県大島郡徳之島町

内 容：・会社の取り組み、仕事内容、研修中の様子、一人暮らしの様子、指導する先輩社員の説明
・入社式に行くサプライズ動画の打ち合わせ
・子離れを伝え社会人としての自立を促す